



代表取締役 社長執行役員

白居 賢

株主の皆様へ

初夏の候、株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期も依然としてコロナウイルスの影響が続き、感染状況を睨みながらの事業運営となりました。当社の主要顧客である電子部品業界では、需要が旺盛な一方、サプライチェーンの混乱や半導体不足による生産調整などの制約も断続的に発生しました。

このような事業環境が続く中、当期は3カ年の第4次中期計画最終年度となりましたが、当初に掲げた「成長軌道への回帰」を目標に、市場と商品の拡大、生産性向上、品質向上などの施策を着実に推進し、売上高、利益ともに過去最高を更新することができました。

この4月より新たに第5次中期計画をスタートしました。現在世界経済は不透明要因が多く存在しますが、基本方針を「地球と社会にやさしく・最適物流の追求と進化」と定め、物流事業を通じて社会課題の解決を目指すとともに、企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年3月期

# IRレポート

～2021年4月1日から2022年3月31日まで～

株式の概況 (2022年3月31日現在)

■株式の状況



■大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
アルプスアルパイン(株)	16,526	46.7
TDK(株)	2,804	7.9
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	2,685	7.6
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,142	3.2
アルパイン(株)	792	2.2

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

会社情報 (2022年3月31日 現在)

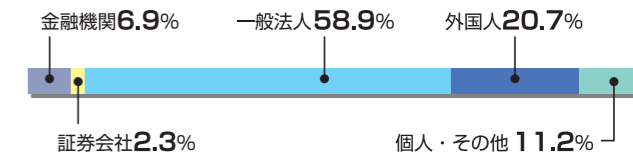
社名 株式会社アルプス物流 (証券コード 9055)  
 英文社名 ALPS LOGISTICS CO., LTD.  
 本社所在地 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1756  
 電話番号 045-531-4133 (代表)  
 設立 1964年7月2日  
 資本金 23億4,904万円  
 社員数 (連結) 5,884名 (単独) 931名  
 運行車輛数 (連結) 3,439台 (単独) 725台  
 倉庫面積 (連結) 934,550m<sup>2</sup> (単独) 301,278m<sup>2</sup>

【株主優待制度のご案内】

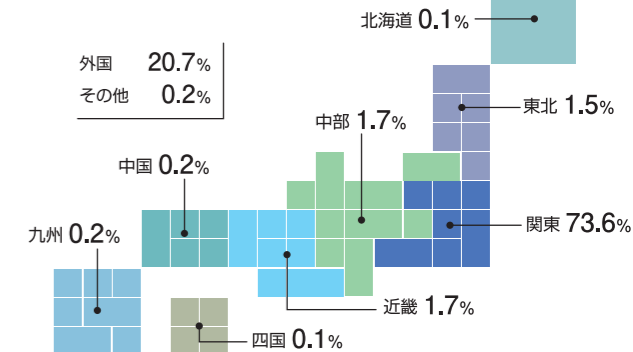
◆対象となる株主様: 毎年3月31日現在の株主名簿に記載また記録された当社株式100株(1単元)以上を保有されている株主様

◆優待内容: QUOカード1,000円分 ◆贈呈時期: 6月下旬頃

■所有者別株式分布状況



■地域別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
 定時株主総会 毎年6月  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関 (連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
 上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場  
 公告方法 電子公告

【ご注意】・住所変更等のお手続きは、口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせ下さい。  
 ・特別口座に記録された株式に関するお手続き、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

**物流個性** ●ホームページURL <https://www.alps-logistics.com/>  
 ●IR情報 URL <https://www.alps-logistics.com/jp/ir/>  
 お客様のための、最適物流を。

## 当期の連結業績実績及び次期の連結業績予想

(単位：百万円、率：前期比増減)

	2022年3月期(実績)	2023年3月期(予想)
売上高	113,814 (13.2%) ↑	115,000 (1.0%) ↑
営業利益	6,021 (27.4%) ↑	5,800 (△3.7%) ↓
経常利益	6,166 (25.2%) ↑	5,550 (△10.0%) ↓
親会社株主に帰属する当期純利益	3,598 (24.1%) ↑	3,250 (△9.7%) ↓

## 連結業績の概況 (2021年4月1日～2022年3月31日)



当期も依然として新型コロナウイルスの影響を大きく受け、当社の主要顧客である電子部品、車載電装品業界におきましては、旺盛な需要がある一方、物流・サプライチェーンの混乱や半導体不足による生産調整を余儀なくされ、回復の制約要因となりました。

当社は感染拡大防止のために十分な対策を講じ、世界各国において異なる規制に対応しながら、顧客のサプライチェーンの変化に対応すべく、サービスの向上に取り組みました。

当期の連結売上高は、前期比13.2%増の1,138億円に、連結営業利益は、27.4%増の60億円となりました。

### ▼電子部品物流事業

保管、運送、輸出入の全事業にて売上高が増加しました。また、国内幹線便ネットワーク再編、保管事業におけるIT化推進や入出庫業務効率化などを図り、増収増益を確保することができました。

### ▼商品販売事業

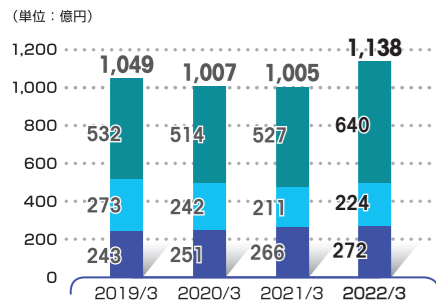
通信・情報機器向け成形材料が中国中心に増加、包装資材も営業力を強化、外販向け中心に拡販を行い、増収増益となりました。

### ▼消費物流事業

新規に稼働を開始したメディカル関連が寄与、またコロナウイルス長期化に伴う在宅生活様式の定着により通販・宅配需要は高水準の状態にあり、増収増益となりました。

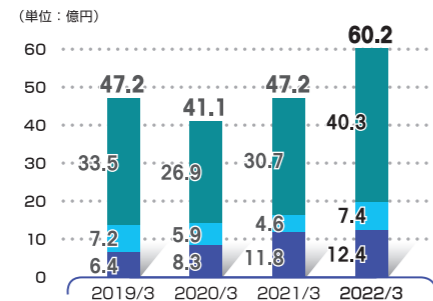
## 売上高

■ 電子部品物流事業  
■ 商品販売事業  
■ 消費物流事業

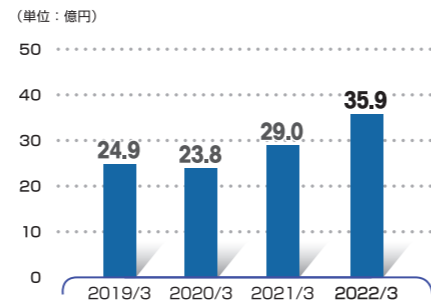


## 営業利益

■ 電子部品物流事業  
■ 商品販売事業  
■ 消費物流事業



## 親会社株主に帰属する当期純利益



## トピックス

### 第5次中計方針

当社は今年度より3力年の中期経営計画をスタートしました。「最適物流」をより多くのお客様へご提供できるよう進化していくとともに、CO<sub>2</sub>排出量削減など環境問題をはじめ、サステナビリティを追求し、社会への貢献と企業価値向上に取り組んでまいります。

### 基本方針

地球と社会にやさしく・  
最適物流の追求と進化

### 事業方針

GTB Get the Business

市場と商品の拡大

GTP Get the Profit

間・直の生産性向上

GTC Get the Confidence

サステナビリティの追求

### 国内倉庫拠点をさらに拡大

当社は、愛知県小牧市にて新たな倉庫を建設することとし、土地の取得及び開発許可を取得しました。



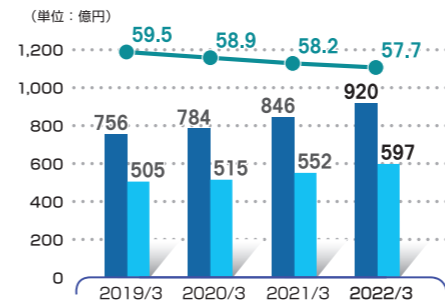
車載関連のお客様を中心に、同地区での事業規模拡大と新規顧客獲得を目指してまいります。

新倉庫は延床面積約33,000㎡、5階建てで2024年1月竣工予定です。当社が強みとする温湿度管理や静電気対策など電子部品の取り扱いに最適な設計を施します。中京地区の既存3拠点を新倉庫に集約することにより保管効率を向上させることに加え、輸送効率の向上を図り、CO<sub>2</sub>排出量削減に貢献します。

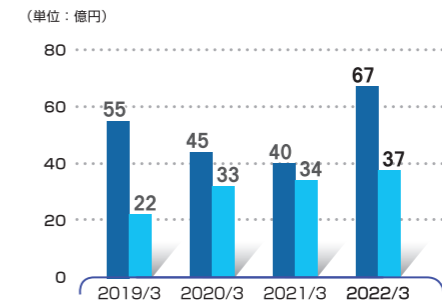
当社では本年9月には横浜新倉庫の竣工を控えており、今後も国内外で保管能力の拡大・ネットワーク拡充を進め、サービスの向上を図ってまいります。

## 財政状況

■ 総資産  
■ 純資産  
● 自己資本比率(%)



## 設備投資・減価償却費 (倉庫賃借含む)



## ROE・ROA

